

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第3号	発行日	令和5年4月25日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

班別行動

4月19日（木）に2年生が年度初めの遠足で班別行動を実施しました。また5月31日（水）～6月2日（金）の修学旅行では3年生が長崎市内での班別行動を実施します。

班別行動を行うには、いくつかクリアしなければならない条件があります。その1つに、「先生が見ていないところでもきちんとできる」ということがあります。3年生の班は30班で、引率する先生の数の2倍ほどになります。1班ずつ先生が引率するわけにはいきません。見つからなければ、何をしてもわかりません。班別行動を成功させるには、すべての判断を「バレるか、バレないか。怒られるか、怒られないか。損か得か。」ではなく「善いか悪いか。」善悪をものさしで一人ひとりが判断できなければなりません。

「自分で考え、自分で判断し、自分で行動する。」ことを主体性といいます。班別行動中、ルールを無視して寄り道したり、買い食いしたり、人の気持ちを考えなかったりすることは、「主体的」ではなく「自分勝手」ということになります。

班別行動は、自分自身が「どれだけ成長したか」、「損得でなく、善悪で行動できる大人になったか」を確かめるよい機会ですね。



松崎中学校 ホームページ続々更新中！

日々の学校生活の様子を、タイムリーにアップしております。

ぜひ、ご覧ください

令和5年度伊丹市教育基本方針

伊丹市教育委員会より、令和5年度伊丹市教育方針がしめされておりますので、お知らせいたします。教育方針は幼児教育から社会教育まで伊丹市の教育についての方針を示したものですが、ここでは学校教育について、要点をお知らせします。

<これからの時代>

地球の温暖化や世界の分断など、人類の存続に関わる難問に立ち向かっていかなければならない。

<伊丹市がめざす教育>

① 主体性の育成

学校では・・・教師主導の一斉授業から脱却し、子どもたちが学びの主体となる
「主体的、対話的で深い学び」の推進

家庭では・・・計画的に取り組む習慣の育成、デジタル教材の有効な活用

② 自尊感情の育成

- ・自分に自信が持てるようになること

新たなことに挑戦する姿勢が生まれ、困難なことに遭遇しても粘り強く取り組むことができるようになる。

- ・自尊感情を高めるために

現状を直視すること、自信をもつこと、自ら考えること、を意識した生き方を支援

③ 「子どもの最善の利益」を視野に入れた教育の推進

生徒指導提要改訂をうけ、学校行事の実施、不登校・いじめへの対応、校則の見直し等において、「子どもの意見」を尊重するなど、子どもの自発的・主体的な成長を支える指導へシフト

